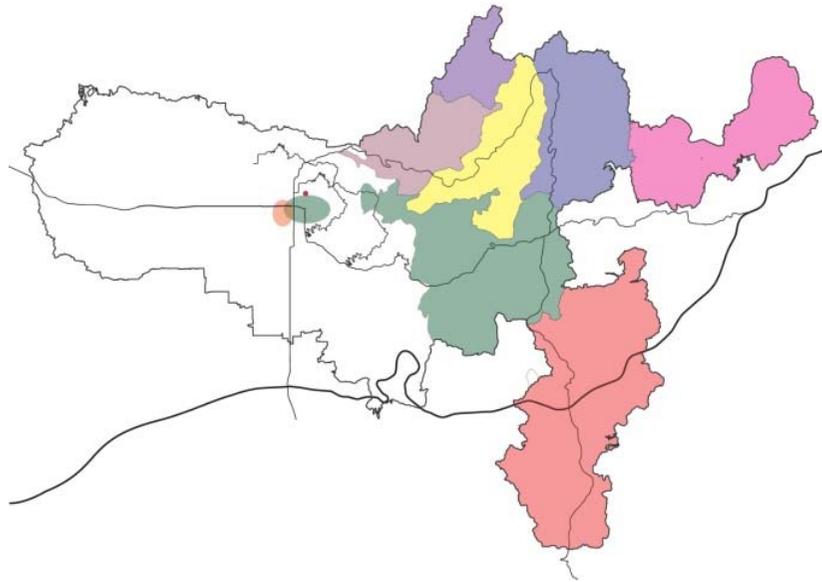


地域おこし協力隊に求められる スキル・考え方



2022年12月22日 黒田 篤史

1. 地域人口の考え方～人口減少の中、関係人口を増やす～

◇地域人口の考え方



	属性	概要
夜間人口	在住人口	その地域に住んでいる人
昼間人口	労働人口	その地域に働いている人
親族人口	在住者の親族	お盆等に不定期に帰ってくる人
交流人口	一時的人口	この地域に興味を持ち関わりたい人
観光客	一時的人口	この地域を観光したい人

→この地域への移住者を増やすと考えた時に一番大切な事が「関係人口」を増やすこと！

2. 協力隊としての最初の仕事とは

地域の歴史・文化・風習を深く知る！

柳生の歴史

- ・ 「奈良市史」
- ・ 「村史柳生のさと」
- ・ 芳徳禅寺和尚へのヒアリング
- ・ 地域の方々へのヒアリング

史跡・文化財

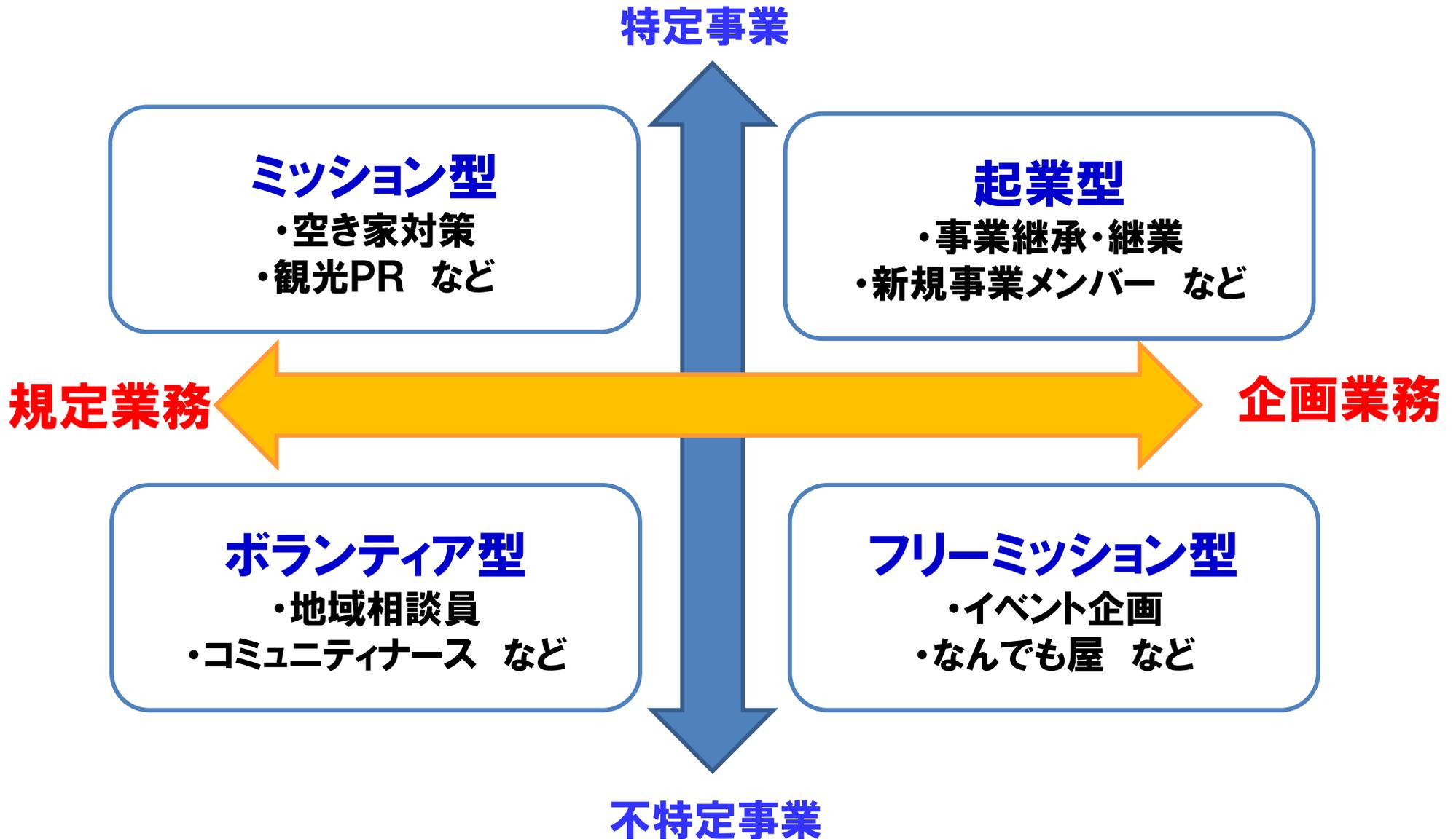
- ・ 「奈良市文化財一覧」
- ・ 文化財一覧にない史跡確認
- ・ 時代（ストーリー）を確認

歳時記・風習・行事

- ・ 神事・直来の取材
- ・ 歳時記・行事の参加
- ・ 郷土料理づくりの参加

3. 地域おこし協力隊の業務区分

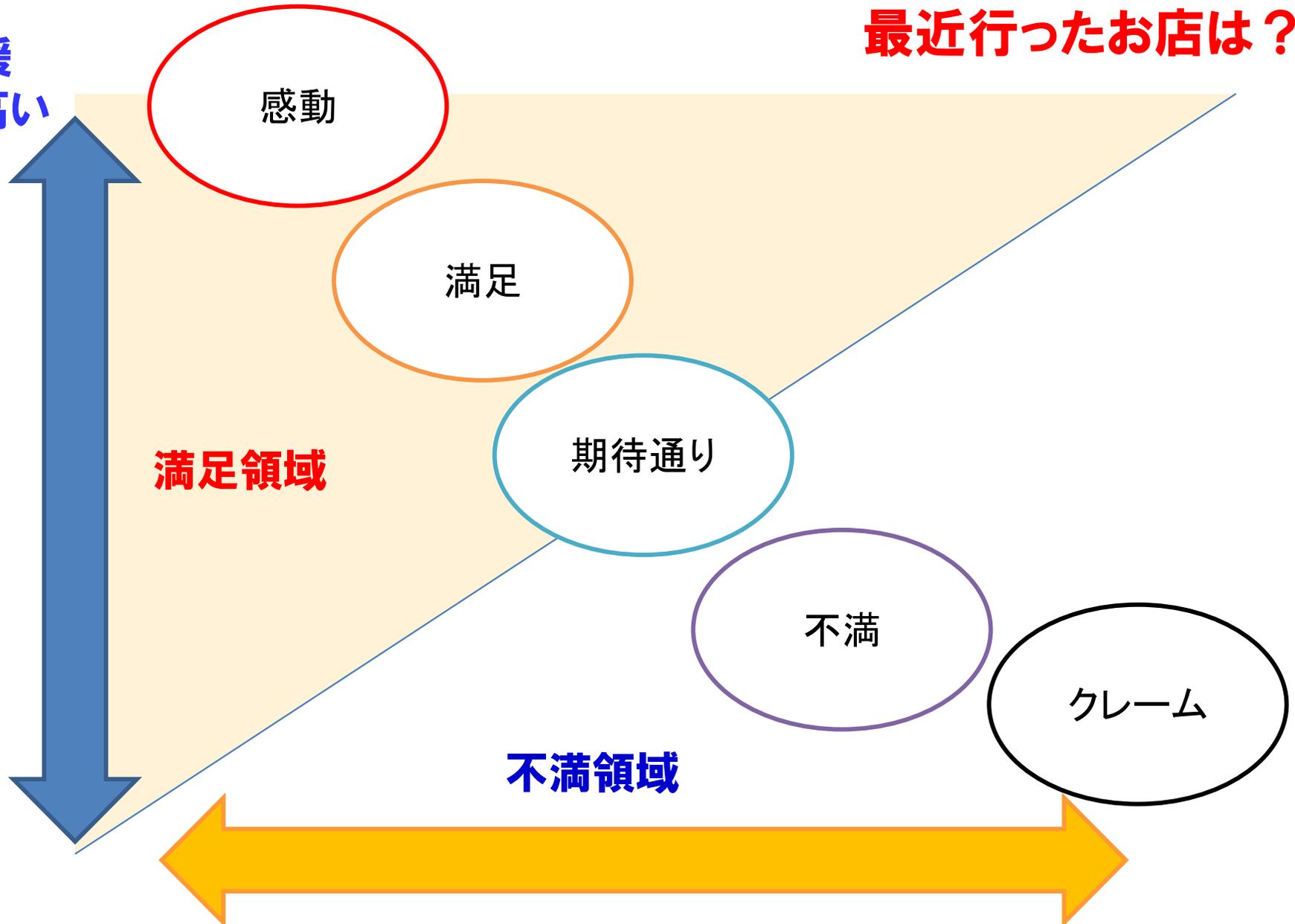
行政により考え方は様々



4. 事前期待と満足度の関係 ～地域の期待～

最近行ったお店は？

行政の支援
度合いが高い



満足領域

不満領域

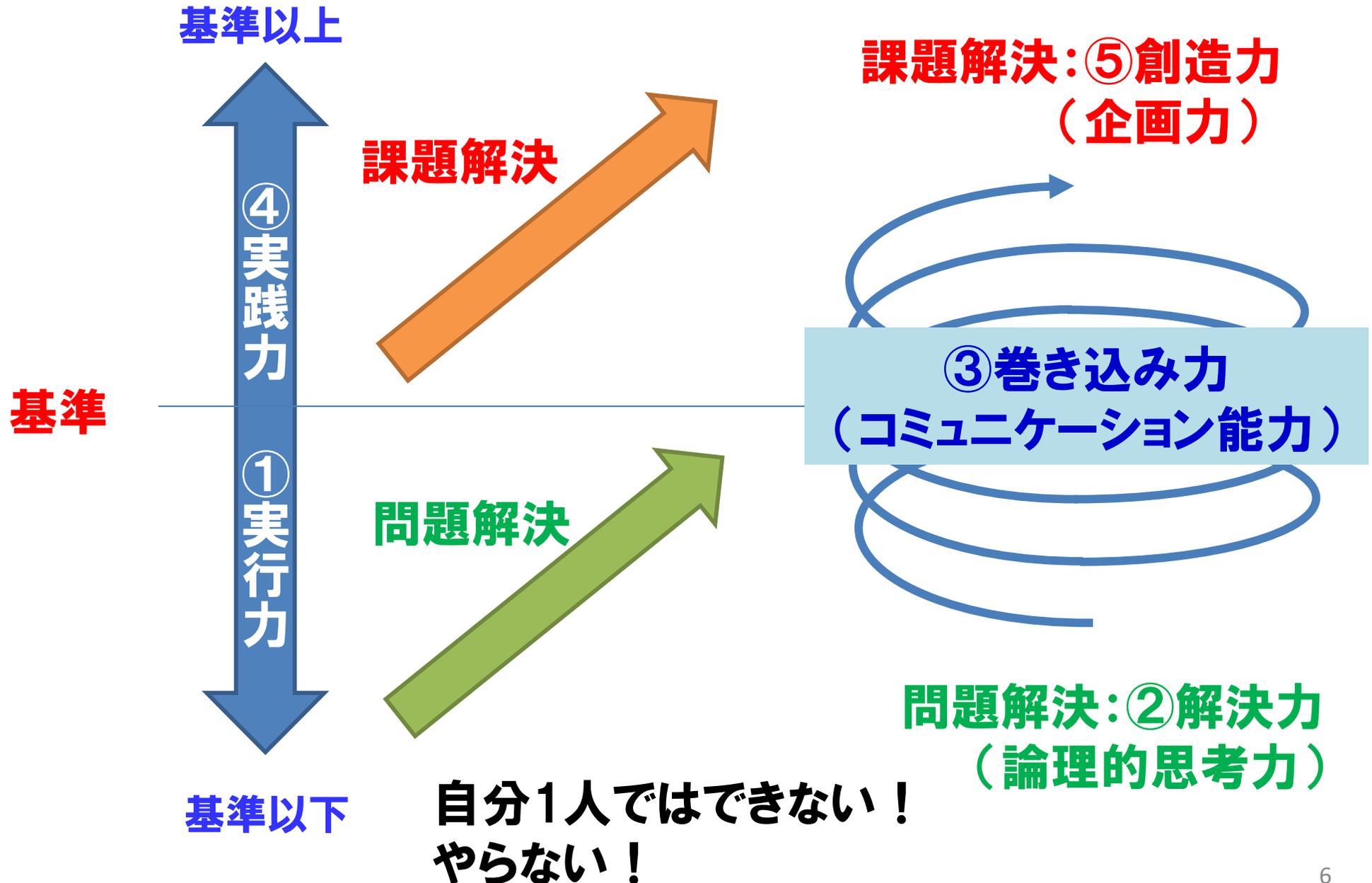
行政の支援
度合いが低い

行政に対する
事前期待が低い

行政に対する
事前期待が高い

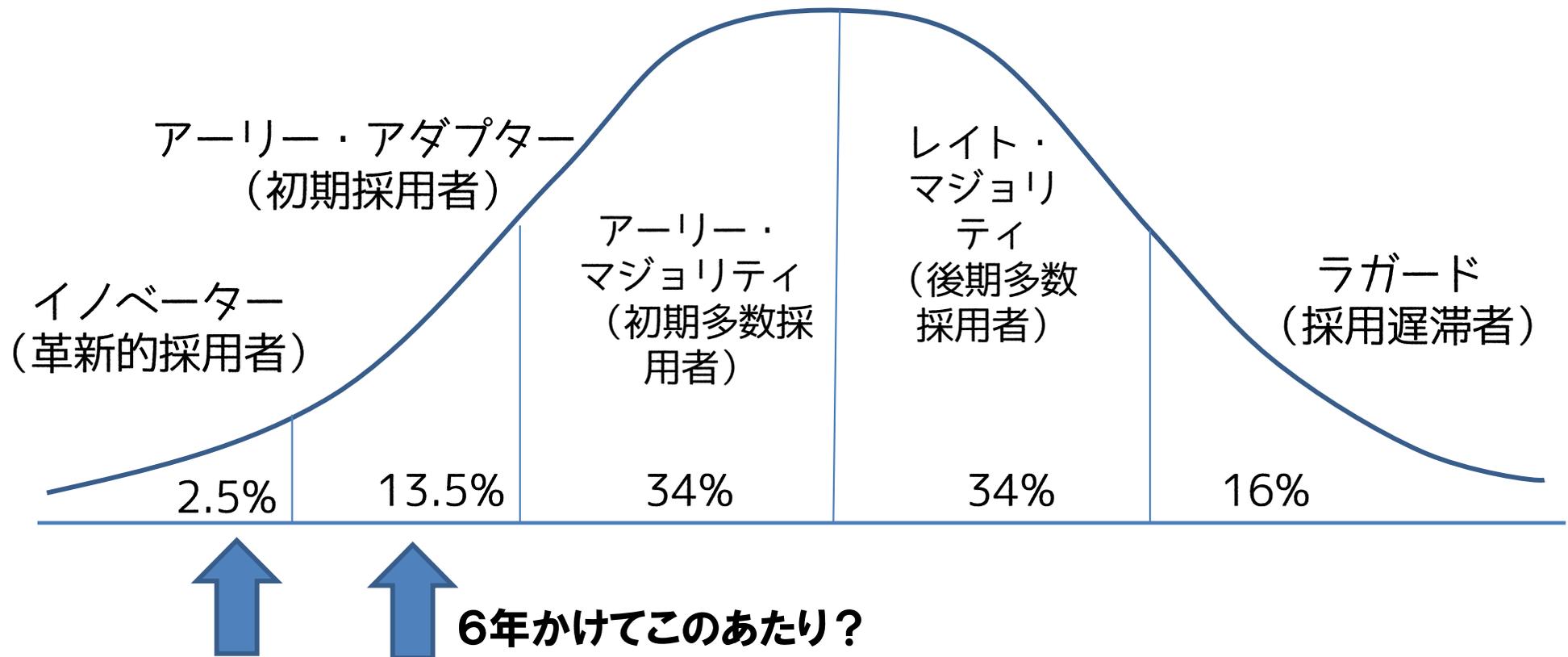
5. 問題解決・課題解決の違い～地域活性化に大切な5つの力～

着任前・後のスキルアップは大事です。



6. 関係人口を増やし、活性化の意識を高める

◆イノベーター理論(普及曲線)とは？



活性化を普及させていくためには？

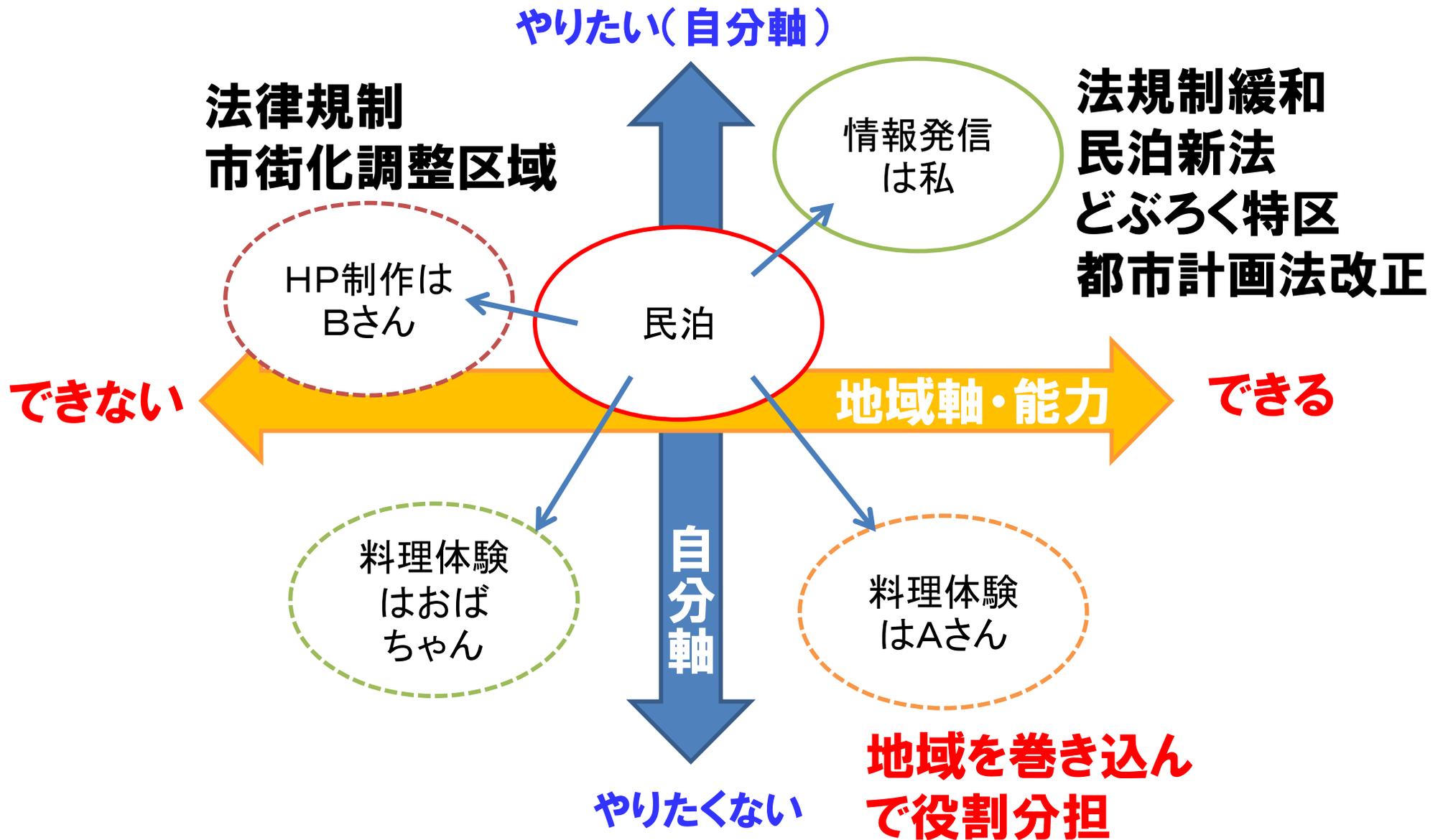
活性の取り組みの認知者・協力者(関係人口)を増やすことが大切。

協力者(地域・地域外)が増える程、前に進む。

(ロジャーズ.E.M)

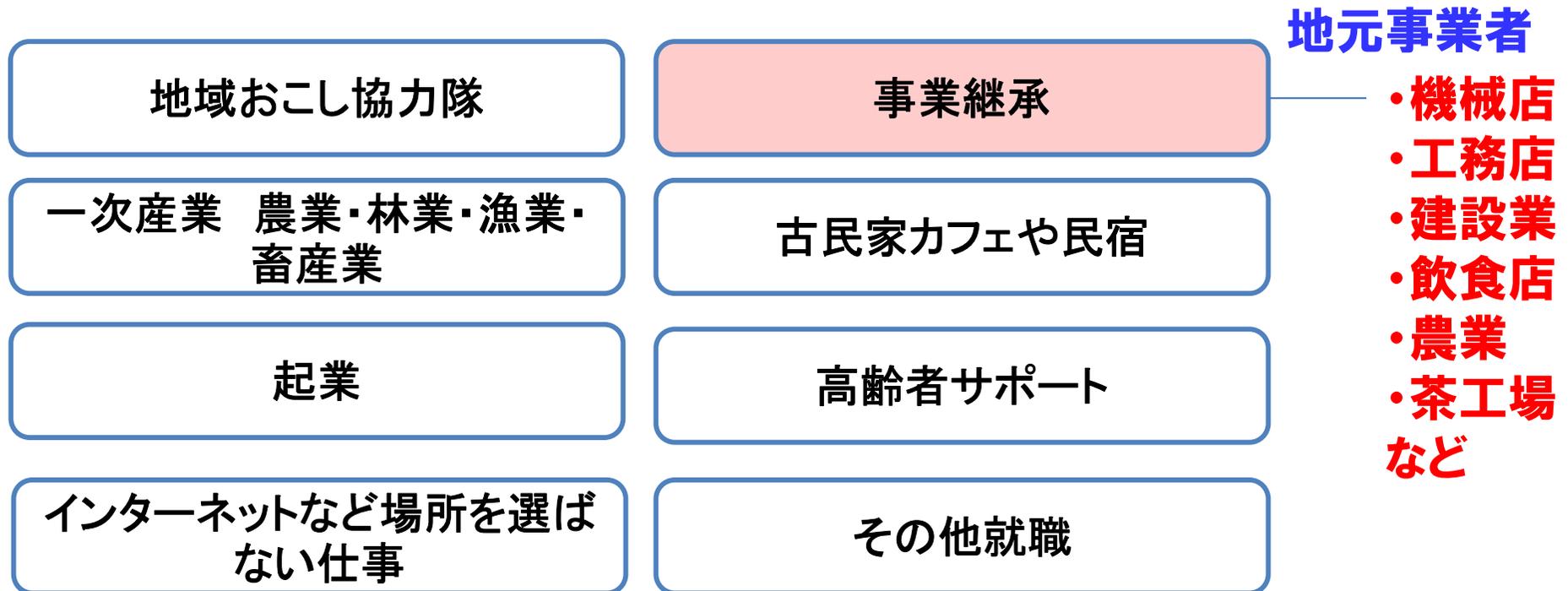
7. 自分のやりたい⇔やりたくないだけの軸で考えるのが 地域おこしなのか？

できない⇔できるという考え方の軸も必要



8. 田舎に住むための働く手段 ～協力隊卒業後どうする？～

◆田舎で働くために、よく言われる移住者が仕事に就きやすい仕事として……



◆ 田舎で住む・働く・食べる必要な3つの考え

投資コストをかけない

ランニングコストをかけない

仕事は1つじゃない



事業継承という
起業方法は、
起業コストを軽減
できる